

コーチング研修を
受講して

教習チーム
リーダー 宮林 修

この度、Mランド益田校に続き、ささ山校においても全スタッフ対象に「教育コーチング」の講習を受講いたしました。受講する前は試験もあるので不安ばかりが先走っていましたが、受講していくうちに「相手のやる気と能力を引き出し、自立を支援する」と聞き、講師の方の話に聞き入っていました。今までは自分の中にある「やらせる」とか「こうしなさい」という指示めいた言葉が多くあったのも事実です。一人一人の潜在している数限りない能力が、このコーチングの技法によってどれだけ引き出せるかは未知数ですし、そこまでの技術や能力が備わったのかも実際分かりません。しかし、我々の仕事も交通教育に携わる者として、又、Mランドを卒業し社会に出て行く若

者たちに「希望の光を灯もしたい、生きる力を育ててやりたい」という思いから真剣に取り組ましました。



講師の方の話を真剣に聞く受講生

私たちの仕事も日常、人と出会い(ゲスト)、その性別、年齢、性格、生きてきた環境もさまざまです。教習する側も戸惑いがあります。しかし、少し見方を変えれば全く別の見方もできます。たとえば「神経質で何もしゃべれない子」だと思えば「細かい所まで気遣いでき、まじめに取り組む子」という見方もできます。

その反対に「よくしゃべり人の話も聞こうとしない子」だと思えば「社交性があり、自分の意志を持っていく子」だという見方もできます。こうした観点から人は正面からだけでなく、側面あるいはちょっと角度を変えて見た時にどうなんだろう?という問いかけを自分自身にすることに、より相手を見る印象や行動が変わってくるんじゃないかと教えられ実感致しました。



2人一組に分かれてのセッション

また、人の生き方は「あり方」で決まる、自分は「どうありたいのか」「どういう人間なのか」を自分に問いかけ、そこから「行動」を創りだして決

める、その「行動」が結果として得たいものにつながる。この考え方は、著書「私が一番受けたココロの授業(比田井和孝著)」の中にも書かれています。「与える者は与えられる」の精神にもつながり「与えるものが返ってくる」という考え方がその人の「あり方」にあるのではないのでしょうか?



講師の方と質問をする練習



握手しながら、褒め称え合う受講生

講習終了後、涙した自分の思いや感動を与えてもらった講師の方の思いを胸に刻み、日々スタッフやゲストに向き合っていきます。忙しい中講習して頂いた講師の先生方には本当に内面から出てくる情熱や意欲を感じ、真剣に向き合っていたことに深く感謝致します。



→講習終了後、お互いを褒め称え、感動のハグ!



MランドニュースVol.63

平成24年6月1日発行記事より抜粋

中級コーチング研修に参加して

今年度からMランド(益田校・丹波ささ山校)では教育コーチングというものを取り入れ、全職員で取り組んでおります。今回は五月十六日、十七日の二日間に渡り、姉妹校であるMランド益田校にて実施された中級教育コーチング研修に参加してまいりました。「コーチング」の語源は「コーチ馬車」です。大切な人を目標地点まで送り届ける役割を担うことを指しております。

ひとは大小何かしら不安や悩みを持たれていると思います。その中で私が今回体験したことは「体感コーチング」というものであり、不安や不満、悩みをイメージの中で形にすることで今後どのようにしたいのかを自分で選ぶというものでした。

今回の研修では知識というものは全く必要なく、ありのままの自分をいかに出すか、いかに相手と一緒の立場になって考えられるかというものでした。教育コーチングを通じて改めて感じたこと

は、人それぞれの考え方があり、奥が深く可能性が無限にあるということです。その無限の可能性をより早く、より明確に引き出せる「コーチ」を私だけでなく職員が一つになり取り組んでまいります。

皆様も、「どうせやっても……」ではなく「どうせやるなら一所懸命やったほうが……。」と考えていただき「向き不向きより前向きに」共に頑張ってまいります。
(南勝 宏幸)

MランドニュースVol.69

平成24年12月1日発行記事より抜粋

中級コーチング研修に参加して

今回、教育コーチング中級課程に会社から参加させていただいたことに心から感謝申し上げます。

『できるかどうかではなく『やる』』ということや五管(五感)で感じることでできた二日間となり、日常生活において気付かないうちに言い訳を作り逃がしている自分にも向き合え気付けられた内容となりました。

口先だけで相手を受け入れ、受け止め支援することはできません。クライアントのためならどんなこともする覚悟を知ると共に行動へと移せる自分もそこにおり、共感でなく共振することがコーチングであることや体裁や理性なんか何にもならないこと、たくさんの弱さを捨てて勇気を捨てて帰郷する事ができました。

私は、今回のコーチングに参加するにあたり、公私ともに『より以上』満足となる、また、なっていただけのようなになりたいという思いでありましたが、参加することで、気魄きぼくの気持ちでやわらぎを

元にも、人々の自立に対する支援をする使命を持っていきます。「自分が、」ではなく常に相手を考え全力行動をしていきます。

ゲストはもとより、スタッフや家族にも今回体得致しましたコーチングを活用していき、私自身のコーチングスキルを上げると共に皆さんに良い顔になっていただける事を願い、できるかどうかではなく、今をやる、やる続けることを決意致しました。



一緒に受講した仲間たちと！

最後に、知らず知らずのうちに自分が行なっていたマインナスな部分を気付かせていただいた今回の研修に参加させていただけましたこと心より感謝申し上げます。また、休み時間等を有意義に使うためにも今回一緒に参加致しました近藤INSや前川INSらは勿論、その他のス

タッフともコーチングによる関わりを深めていくソートリーダーとなります。

(中野 聡)

教育コーチング更新

運転免許証に更新があるように、三年前に認定を受けた「教育コーチング」の更新講座が四月二十日、取得者対象で二班に分かれて行なわれました。教育コーチングとは、(社)日本青少年育成協会によるもので、ゲストのやる気と能力を引き出し、自立を支援し「生きる力」を育む教育を目的として、カリキュラムを受け審査に合格し認定されるもので、以

来、私たちはこのことについて意識しながら取り組んでまいりました。今回はこの三年間のコーチングを総括するための講座で、講師は前回と同じ増田乃美様(ニックネーム・なみぞう)から、コーチングのいくつかのバリエーションを出題され、私たちはコーチする側とゲスト役と交代しながら研修を行ないました。



いつも楽しい講習の増田様

私たちは生まれたときから人との関わりの中で成長していくのですが、言葉の使い方や態度で、相手のやる気と能力に影響することを、今回も確かめました。

なおさら、自動車の運転が全く初めてのゲストに指導するのですから、コーチングはとてもしんが深いものといえます。同協会からお送りいただく月報には、コーチングのヒントとなる事例や情報と共に、全国で認定された

多くの学校・学習塾や企業が紹介してあります。そこに県内の自動車教習所も認定校として紹介され、コーチングが自動車学校にも広がっていることを知りました。更に私たちがゲストが成長できるMランドであり続けるために取り組んでまいります。



アームハグをして相手をほめる！！